

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 1 New Friends

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • Which や What などではまる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解することができる。 • LISTENING で使用されているクラブ名、出身地（出身校）、趣味に当たる英語をきいて内容を正しく理解することができる。 • Challenge!!の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解することができる。 • 出身地などはどこかをたずねる表現を聞いて、キーワード（be from など）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • どのクラブに入りたいかをたずねる表現を聞いて、キーワード（which club, be going to join など）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • 入りたいクラブを答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 趣味は何かをたずねる表現を聞いて、キーワード（be interested in など）を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • その人の趣味を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • 疑問詞で始まる文の最後のイントネーションは下げて発話することができる。 • be from ~を使って出身地や出身校をたずねることができる。 • be from ~を使って出身地や出身校を答えることができる。 • be going to ~を使って、相手の入りたいクラブをたずねることができる。 • want to ~を使って、自分の入りたいクラブを表現することができる。 • interested in ~を使って、趣味（興味あるもの）をたずねることができる。 • interested in ~を使って、趣味（興味あるもの）を答えることができる。 • 相手の目を見て話すことができる。 • 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> • 疑問詞で始まる疑問文と Yes/No で答えられる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。 • 初めて会ったクラスメートに出身地、入りたいクラブ、趣味などを正しい表現を使ってたずねることができる。 • 出身地が同じであると思われるクラスメートには出身中学校、出身地がよくわからない人には出身地をたずねるなど、相手や場面によって適切な質問をすることができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。 • 初対面での対話表現（Key Expressions）を正確に理解することができる。 • 自然な口調で話された初対面での質問や自己紹介の表現が正しく理解することができる。 • 聞かれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> • be from, want to, be interested in の表現を用いて、クラスメートの出身地（出身校）、入りたいクラブ、趣味をクラス全員に知らせることができる。 • 教科書 p.11 の Challenge!!（オプション）での対話を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表することができる。 • クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表することができる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 2 Free Time

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> How や What で始まる疑問文を聞いて、休日の過ごし方に関する内容を正確に理解することができる。 Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 LISTENING で使用されている休日の過ごし方の英語をきいて内容を正しく理解できる。 Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解することができる。 通常の休日の過ごし方をたずねる表現を聞いて、キーワード (How do you spend~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 通常の休日の過ごし方を答える表現を聞いて、キーワード (I usually play~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 過去の休日の過ごし方をたずねる表現を聞いて、キーワード (What did you do~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 過去の休日の過ごし方を答える表現を聞いて、キーワード (I played~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 休日の過ごし方の予定をたずねる表現を聞いて、キーワード (What are you going to do~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 休日の過ごし方の予定を答える表現を聞いて、キーワード (I'm going to~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> tennis, weekend は第 1 音節に、Saturday, usually は第 1 音節にストレスをおいて発音することができる。 How do you spend~?を使って通常の休日の過ごし方 (趣味) をたずねることができる。 I usually (play)~.を使って通常の休日の過ごし方 (趣味) を答えることができる。 What did you do~?を使って、過去の休日の過ごし方をたずねることができる。 I (played)~.を使って、過去の休日の過ごし方を表現することができる。 What are you going to do~?を使って、休日の過ごし方の予定をたずねることができる。 I'm going to (see)~.を使って、休日の過ごし方を答えることができる。 現在形、過去形、未来形 (be going to~) などの時制を正確に使い分けて発話することができる。 相手の目を見て話すことができる。 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> 単語の発音の強弱を正しく使い分けることができる。 休日の過ごし方を現在形、過去形、未来形 (be going to) など時制を正しく使い分けてたずね、答えることができる。 通常の休日の過ごし方 (趣味) をたずねたい場合、過去 (先週など) の休日の過ごし方をたずねたい場合、休日の予定をたずねたい場合など、場面によって適切な質問をすることができる。 SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。 休日の過ごし方に関する対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。 自然な口調で話された休日に関する質問が正しく理解できる。 きかれたことに対して、素早く適切に自分の休日の過ごし方を相手に知らせることができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> she(he) usually (plays)~, she(he) (played), she(he) is going to~の表現を用いて、クラスメートの通常の休日の過ごし方 (趣味)、過去の休日の過ごし方、休日の過ごし方の予定をクラス全員に知らせることができる。 教科書の Challenge!! (での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。 クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 3 Are You Okay?

<p>聞くこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手の健康状態をたずねたり答えたりする表現 Are you okay? I have a ~.などを使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 相手に健康に関してのアドバイスをする表現 You should ~.などを使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 Check で聞いた質問の意味を正しく理解することができる。 LISTENING で使用されている番組の種類に当たる英語をきいて内容を正しく理解できる。 Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解することができる。 あいさつの表現である How are you?を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 体調をたずねる表現を聞いて、キーワード (Are you okay?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 体調を答える表現を聞いて、キーワード (I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現を聞いて、キーワード (That's too bad. You should ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
<p>話すこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> あいさつの表現である How are you? を、適切に発話することができる。 体調をたずねる表現 Are you okay? の最後のイントネーションを上げて発話することができる。 体調を答える表現 (I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.) を適切に発話することができる。 相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現 (That's too bad. You should ~.) を適切に発話することができる。 相手の目を見て話すことができる。 大きな声ではっきりと発話することができる。
<p>対話すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞で始まる疑問文と Are you ~?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。 体調やアドバイスを、正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 相手の体調やアドバイスに積極的に関心を示し、対話を継続することができる。 SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。
<p>口頭で発表すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の Challenge (オプション) での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表することができる。 クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表することができる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 4 Our School

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • 学校に関する事柄をたずねたり答えたりする表現、How big~?, Is there something famous~?, When is~?, There are~, It's on~を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されているクラブや行事に当たる英語をきいて内容を正しく理解できる。 • Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。 • 発音の強弱に注意しながら意味を聞き分けることができる。 • 学校の大きさをたずねる表現を聞いて、キーワード (How big~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • 学校の大きさを答える表現を聞いて、キーワード (There are~) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • 学校の特徴 (有名なもの、こと) をたずねる表現を聞いて、キーワード (Is there something famous~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • 学校の特徴 (有名なもの、こと) を答える表現を聞いて、キーワード (~is famous.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • 行事日程をたずねる表現を聞いて、キーワード (When is~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • 行事日程を答える表現を聞いて、キーワード (It's on~) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書 p.25 の SOUNDS にあるように、発音の強弱に注意しながら文を発話することができる。 • How big ~?を使って相手の学校の大きさをたずねることができる。 • There are~を使って自分の学校の大きさを答えることができる。 • Is there something famous~?を使って、相手の学校の特徴 (有名なもの、こと) をたずねることができる。 • ~is famous.を使って、自分の学校の特徴 (有名なもの、こと) を表現することができる。 • When is ~?を使って、行事の日程をたずねることができる。 • It's on ~を使って、行事の日程を答えることができる。 • 相手の目を見て話すことができる。 • 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の大きさ、特徴 (有名なもの、こと)、行事日程について、正しい表現を使ってたずねたり、答えたりすることができる。 • 相手の学校に関して積極的に関心を示し、質問し、自分の学校について話したりしながら対話を継続することができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> • there are~, ~is famous, on~の表現を用いて、クラスメートの架空の学校についての情報をクラス全員に知らせることができる。 • 教科書の Challenge (オプション) での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。 • クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 5 Weather

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • How, What などではまる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されている天気や気候の表現をきいて内容を正しく理解できる。 • How is the weather in ~ today? を使った今日の天気をたずねる表現を聞いて、相手が聞きたいところの場所を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • It's ~ を使った今日の天気を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • What is the weather forecast for tomorrow in ~? 明日の天気予報をたずねる表現を聞いて、相手が聞きたいところの場所を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • It will be ~ を使った明日の天気予報を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • How is the climate in ~ in this season? 今の季節の気候をたずねる表現を聞いて、相手が聞きたいところの場所を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • It's usually ~ を使った今の季節の気候を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • dry, rainy, windy, cool, humid, wet, stormy, snowy という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • What is the weather forecast for tomorrow ~? の疑問文と、It will be cloudy ~. で始まる未来形を用いた天気予報の表現で、文の区切りに注意して正しく発音することができる。 • How, What などではまる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されている天気や気候の表現をきいて内容を正しく理解できる。 • How を使って今日の天気をたずねることができる。 • It's ~. を使って今日の天気を答えることができる • What を使って明日の天気予報をたずねることができる。 • It will be ~. を使って明日の天気予報を答えることができる。 • How を使って今の季節の気候をたずねることができる。 • It's usually ~. を使って今の季節の気候を答えることができる。 • Sunny, cloudy, rainy, snowy, windy という表現で適切に天気の表現ができる。 • hot, cool, dry, cold, humid という表現で適切に気候の表現ができる。 • 相手の目を見て話すことができる。 • 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> • What is the weather forecast for tomorrow ~? の疑問文と It will be cloudy ~. で始まる未来形を用いた天気予報の表現で、文の区切りに注意して言うことができる。 • ある場所の天気や気候によって、sunny, cloudy, rainy, snowy, windy などの天気の表現を使い分けたり、hot, cool, dry, cold, humid などの気候を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な対話を行うことができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> • このレッスンで学習した天気・気候の表現を用いて、指定された場所と日にちの天気や気候たずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。 • クラス全体を見渡しなが、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 6 TV Programs

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 好きな事柄をたずねたり答えたりする表現、Do you like~?, What kind of~do you like?, Who is your favorite~?, I like~.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 LISTENING で使用されている番組の種類に当たる英語をきいて内容を正しく理解できる。 Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。 好きかどうかをたずねる表現を聞いて、キーワード (Do you like~?) を聞き取ることができる。 好きかどうかを答える表現を聞いて、キーワード (Yes, very much./No, not so much.) を聞き取ることができる。 どんな種類のものが好きかをたずねる表現を聞いて、キーワード (What kind of~do you like?) を聞き取ることができる。 どんな種類のものが好きかを答える表現を聞いて、キーワード (I like~.) を聞き取ることができる。 気に入っている人 (もの) をたずねる表現を聞いて、キーワード (Who(What) is your favorite~?) を聞き取ることができる。 気に入っている人 (もの) を答える表現を聞いて、キーワード (I like~.) を聞き取ることができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> Do you~?で始まる文の最後のイントネーションは上げて発話することができる。 Do you like ~?を使って相手の好きなもの (こと、人) をたずねることができる。 Yes, very much./No, not so much.を使ってたずねられたもの (こと、人) の好き嫌いを答えることができる。 What kind of ~?を使って、相手の好きなもの (こと、人) の種類をたずねることができる。 I like ~.を使って、自分の好きなもの (こと、人) の種類を表現することができる。 Who(What) is your favorite ~?を使って、相手の気に入っている人 (こと、もの) をたずねることができる。 I like ~.を使って、気に入っている人 (こと、もの) を答えることができる。 相手の目を見て話すことができる。 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞で始まる疑問文と Do you~?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。 好きなもの (こと、人) について、正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 相手の好きなもの (こと、人) に積極的に関心を示し、対話を継続することができる。 SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> she(he) likes (watching)~または she(he) doesn't like (watching)~, her(his) favorite~の表現を用いて、クラスメートの好きなもの (こと、人) をクラス全員に知らせることができる。 教科書 p. 45 の Challenge!! (オプション) での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。 クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 7 Talking on a Cell Phone

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • Can, Where, Will ~? など始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されている電話の受け答えの表現をきいて内容を正しく理解できる。 • Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。 • Hi, という表現を聞いて、適切に反応することができる。 • Can I~?を使った、相手がいま話せるかたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • Sorry, ~. 使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • Will you ~? を使った相手が時間通りに来られるかをたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 時間通りに来られる、または遅れるという表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 相手が email を読んだかどうかたずねる完了形を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • email を読んだかどうかを答える完了形を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • getting on, miss a good scene, cooking dinner, eating, call you back, call me again, email you later, turn off my cell phone という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • Hi, という表現を使って、適切に話すことができる。 • Can I ~?を使った相手がいま話せるかたずねる表現を使うことができる。 • Sorry, ~.を使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を使うことができる。 • Will you ~? を使った相手が時間通りに来られるかをたずねる表現を使うことができる。 • 時間通りに来られる、または遅れるという表現を使うことができる。 • 相手が email を読んだかどうかたずねる完了形を使った表現を使うことができる。 • email を読んだかどうかを答える完了形を使った表現を使うことができる。 • getting on, miss a good scene, cooking dinner, eating, call you back, call me again, email you later, turn off my cell phone という表現を使うことができる。 • 大きな声ではっきりと発話することができる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対話すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Have you read my email?という疑問文と、Yes, I have.の表現で、強く発音するところやイントネーションを正しく発音することができる。 • 電話をかけ、相手が今話せるかたずね、また待ち合わせの時間に来られるか、emailを読んだかなどを正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 • 自分の状態によって、miss a good scene や cooking dinner など話せない理由を示す表現を使い分けたり、call you back、call me again、email you later などの今後の行動を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な電話の応対をすることができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">口頭で発表すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • このレッスンで学習した携帯電話の表現を用いて、相手が話せるかどうかや、待ち合わせに間に合うか、eメールを読んだかのたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。 • クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 8 Telling the Way

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • Where、Could などではまる疑問文や命令文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されている道案内の表現をきいて内容を正しく理解できる。 • Excuse me. という表現を聞いて、適切に反応することができる。 • Where を使った、道をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができる。 • Could you tell me the way to ~? を使った道をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができる。 • まっすぐ行く go straight、北へ行く go north、沿っていく go along などという表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 右に曲がる turn right、左に曲がる turn left という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • ブロックの端にある at the end of the block、1 ブロック行く go one block などの block を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 橋を渡る cross the bridge という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 交差点にある on the corner of ~ and ~ という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • on your right、on your left、next to ~ という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • Could you tell me the way to ~? の疑問文と、Go で始まる命令文を用いた道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • Excuse me. と知らない人にていねいに話しかける表現を使うことができる。 • Where を使って、自分が行きたいところへの道をたずねることができる。 • Could you tell me the way to ~? を使って、自分が行きたいところへの道をたずねることができる。 • まっすぐ行く go straight、北へ行く go north、沿っていく go along などという表現で適切に道案内することができる。 • 右に曲がる turn right、左に曲がる turn left という表現で適切に道案内することができる。 • ブロックの端にある at the end of the block、1 ブロック行く go one block などの block を使った表現で適切に道案内することができる。 • 橋を渡る cross the bridge という表現で適切に道案内することができる。 • 交差点にある on the corner of ~ and ~ という表現で適切に道案内することができる。 • on your right、on your left、next to ~ という表現で適切に道案内することができる。 • 相手の目を見て話すことができる。 • 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> • Could you tell me the way to ~? の疑問文と、Go で始まる命令文を用いた道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • 初めて会う人などに、あるところへの行き方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 • 行く先の道によって、go straight や turn、cross the bridge などの道案内の表現を使い分けたり、on your left、next to ~、on the corner of ~ などの位置を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な道案内をすることができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> • このレッスンで学習した道案内の表現を用いて、指定された場所への行き方のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。 • クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 9 Kyoto

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> How, Where, などで始まる疑問文や命令文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 LISTENING で使用されている名所への行き方の表現をきいて内容を正しく理解できる。 Excuse me. という表現を聞いて、適切に反応することができる。 How を使った名所への行き方をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 Where を使った名所への行き方をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 地下鉄に乗り Take the subway ~、次に別な乗り物に乗り換える then change to ~. などという表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 乗り換え Change at ~. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 いくつめ How many stops ~? を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 いくつ目でおりる Get off at ~. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 どのくらい時間がかかる How long does it take form here? という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 ～分ぐらいかかる It takes about ~. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 take, subway, change, shrine, get off, the next stop, the third stop, City bus という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> How many stops is it from ~? の疑問文と、Get off ~. で始まる命令文を用いた名所までの乗り物案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 Excuse me. と知らない人にていねいに話しかける表現を使うことができる。 Excuse me. という表現を聞いて、適切に反応することができる。 How を使って自分が行きたい名所への行き方をたずねることができる。 Where を使って自分が乗り換える駅をたずねることができる。 How を使って自分がいくつめでおりるかたずねることができる。 How を使ってどのくらい時間がかかるかたずねることができる。 地下鉄に乗り Take the subway ~、次に別な乗り物に乗り換える then change to ~ などという表現で適切に乗り物案内をすることができる。 乗り換え Change at ~. の表現で適切に乗り物案内をすることができる。 ～分ぐらいかかる It takes about ~. という表現で適切に乗り物案内をすることができる。 take, subway, change, shrine, get off, the next stop, the third stop, City bus という表現で適切に乗り物案内をすることができる。 相手の目を見て話すことができる。 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> How many stops is it from ~? の疑問文と、Get off ~. で始まる命令文を用いた名所までの乗り物案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 初めて会う人などに、あるところへの行き方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 行く先によって、take the subway ~ Line. や change to ~, change at ~ station. のように、交通機関の利用や乗り換えなどの乗り物案内の表現を使い分けたり、get off at ~, It takes about ~. などの下車駅や乗車時間を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な名所への乗り物案内をすることができる。 SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> このレッスンで学習した乗り物案内の表現を用いて、指定された場所への行き方のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。 クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 10 Shopping

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • May, What, How などではまる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されている買い物案の表現をきいて内容を正しく理解できる。 • May I help you? という表現を聞いて、適切に反応することができる。 • What を使ったサイズをたずねる表現を聞いて、相手が買いたいものの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • How about this ~ one? を使った商品をすすめる表現を聞いて、相手が求めるものの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • How much ~? という値段をたずねる表現を聞いて、相手が求めるものの値段を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • It's too expensive. Please show me another one. という別な商品の提示を求める表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 「～しているところです」 I am looking ~. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 「M サイズをお願いします」 Medium, please. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 「～に見える」 It looks ~. 「それを買います」 I'll take it. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • 「見せてください」 Show me. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • May I help you? の疑問文と、Yes, I'm looking for ~. の買い物の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • May I help you? を使って、客に対して挨拶の表現を言うことができる。 • What を使って、サイズをたずね、相手が買いたいものの名前を言うことができる。 • How about this ~ one? を使って、別な商品をすすめることができる。 • How much ~? を使って値段をたずねることができる。 • It's too expensive. Please show me another one. を使って別な商品の提示を求める表現を言うことができる。 • be -ing ~ 「しているところです」 を使って欲しい商品を言うことができる。 • ~ please を使い、large, medium, small などのサイズや blue, red, gray, purple, black, green, brown などの好みの色などを言うことができる。 • It looks ~. 「～に見える」 I'll take it. 「それを買います」 を使い、商品のイメージと購入の決定を伝えることができる。 • 相手の目を見て話すことができる。 • 大きな声ではっきりと発話することができる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対話すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • May I help you? Yes, I'm looking ~.の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • 英語で好みのセーターを買うための正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 • 買い物では、looking for ~ の表現を使って欲しい品物を求めたり、medium, blue, a hundred dollars と言ってサイズ、色、予算の表現を使い分けたり、値段が高くて気に入らない場合には、It's too expensive. Please show me another one.のように別な商品の提示を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な買い物をすることができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">口頭で発表すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • このレッスンで学習した買い物の表現を用いて、買い物のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。 • クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 11 Restaurant

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • May, Would, Anything などで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されている注文の表現をきいて内容を正しく理解できる。 • Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。 • May I take your order? という注文を受ける表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • I'll have ~.を使った注文の品を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる • Would you like something to drink? を使った飲み物をたずねる表現を聞いて、相手が飲みたい物の名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • I'd like ~.を使った注文の品を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる • Anything else? を使ったデザートなどをたずねる表現を聞いて、相手が食べたいものの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • I'll have ~.や that's all 使った注文の品を答えたり、注文を断ったりする表現を聞いて、内容を適切に理解することができる • pizza, spaghetti, curry and rice, fried rice, oolong tea, iced tea, salad, custard pudding などの表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • Would you like something to drink? の疑問文と、Yes, I'd like a cup of tea.の答えの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • May I take your order? という注文を受ける表現を適切に使うことができる。 • I'll have ~.を使った注文の品を答える表現を適切に使うことができる • Would you like something to drink? を使った飲み物をたずねる表現を適切に使うことができる。 • I'd like ~.使った注文の品を答えることができる • Anything else? を使ったデザートなどをたずねる表現を適切に使うことができる。 • I'll have ~. や that's all 使った注文の品を答えたり、注文を断ったりする表現を適切にすることができる。 • pizza, spaghetti, curry and rice, fried rice, oolong tea, iced tea, salad, custard pudding などの表現を適切に使うことができる。 • 相手の目を見て話すことができる。 • 大きな声ではっきりと発音することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> • Would you like something to drink?の疑問文と、Yes, I'd like a cup of tea.の答えの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • 初めて会う人などに、あるところへの行き方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 • 注文によって、Yes, I'll have a ~.、や Yes, I'd like a ~.などの注文依頼の表現を使い分け、No, that's all. など注文を断る表現を使ったりするなど、場面によって適切な対話を行うことができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。
口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none"> • このレッスンで学習した注文の表現を用いて、指定された料理、飲み物、デザートの注文のしかた、答え方をクラス全員に示すことができる。 • クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 12 Making a Plan

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> • Let's ~, Are ~?, How ~?, When and where ~?などで始まる命令文や疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 • Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 • LISTENING で使用されている約束の表現をきいて内容を正しく理解できる。 • Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。 • Let's ~. を使った、一緒に何かをしようとする表現を聞いて、相手がしたいことを聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 • Sounds ~. を使った同意の回答を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • Are ~? を使った、あいている日にちをたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • Sorry ~. を使った忙しくて都合が悪い回答の表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • How about ~? を使った別な日にちの提案の表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • I'm free ~. を使った同意の回答の表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • When and where ~? を使った待ち合わせ場所と時間をたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。 • Let's ~. を使った待ち合わせ場所と時間を取り決める表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> • When and where shall we meet? の疑問文と、Let's ~. で始まる命令文を用いた約束の取り決めの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • 予定のない人などに都合をたずね、約束をしてどこへ何をしに行くかを決め、待ち合わせ場所と時間を決める話し方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 • Let's ~. を使って待ち合わせ場所と時間を取り決めることができる。 • Sounds ~. を使って同意の回答をすることができる。 • Are ~? を使って、あいている日にちをたずねることができる。 • Sorry ~. を使って相手の誘いを断ることができる。 • How about ~? を使って、別な日にちを提案することができる。 • I'm free ~. を使って同意の回答をすることができる。 • When and where ~? を使って待ち合わせ場所と時間をたずねることができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。 • 相手の目を見て話すことができる。 • 大きな声ではっきりと発話することができる。
対話すること	<ul style="list-style-type: none"> • When and where shall we meet? の疑問文と、Let's ~. で始まる命令文を用いた約束の取り決めの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。 • 予定がない人などに、都合をたずね、どこへ何をしに行くかを決め、その待ち合わせ場所と時間を決める話し方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 • Let's ~. を使って待ち合わせ場所と時間を取り決めることができる。 • Sounds ~. を使って同意の回答をすることができる。 • Are ~? を使って、あいている日にちをたずねることができる。 • Sorry ~. を使って相手の誘いを断ることができる。 • How about ~? を使って、別な日にちを提案することができる。 • I'm free ~. を使って同意の回答をすることができる。 • When and where ~? を使って待ち合わせ場所と時間をたずねることができる。 • SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

口頭で発表する こと	<ul style="list-style-type: none">• このレッスンで学習した約束の表現を用いて、あいている日、待ち合わせの場所と時間のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。• クラス全体を見渡しながらか、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。
---------------	---

SELECT English Conversation

CAN-DO リスト

Lesson 13 Future Jobs

<p>聞くこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来なりたい職業をたずねたり答えたりする表現、What do you want to be ~?, I want to be ~.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 ・ 理由をたずねたり答えたりする表現、Why?, Because ~.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 ・ 実現のためにすることをたずねたり答えたりする表現、What are you going to do to make your dream come true? I'm planning to ~. I must ~.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。 ・ Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。 ・ LISTENING で使用されている職業名や実現手段の英語を聞いて内容を正しく理解できる。 ・ なりたい職業をたずねる表現を聞いて、キーワード (What do you want to be ~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 ・ なりたい職業を答える表現を聞いて、キーワード (I want to be ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 ・ 理由をたずねる表現を聞いて、キーワード (Why?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 ・ 理由を答える表現を聞いて、キーワード (Because ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 ・ 実現のためにすることをたずねる表現を聞いて、キーワード(make your dream come true) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。 ・ 実現のためにすることを答える表現を聞いて、キーワード (I'm planning to ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
<p>話すこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ What do you ~?で始まる文の最後のイントネーションは下げて発話することができる。 ・ What do you want to be ~?を使って相手のなりたい職業をたずねることができる。 ・ I want to be ~.を使ってなりたい職業を答えることができる。 ・ Why ?を使って、相手のなりたい職業の理由をたずねることができる。 ・ Because ~.を使って、なりたい理由を表現することができる。 ・ What ~ to make your dream come true?を使って、その職業につくためにしようとしていることをたずねることができる。 ・ I'm planning to ~.などを使って、しようとしていることを答えることができる。 ・ 相手の目を見て話すことができる。 ・ 大きな声ではっきりと発話することができる。
<p>対話すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑問詞で始まる疑問文と Do you ~?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。 ・ 好きなもの（こと、人）について、正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 ・ 相手の好きなもの（こと、人）に積極的に関心を示し、対話を継続することができる。 ・ SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

口頭で発表すること	<ul style="list-style-type: none">• she/he wants to be ~.や because ~.,she/he is planning to ~の表現を用いて、クラスメートのなりたい職業やそのためにすることをクラス全員に知らせることができる。• 教科書 p. 100 の Challenge!! (オプション) で、なりたい職業などのスキットを KEY EXPRESSIONS や教科書の参考表現を使って作ることができる。• 教科書 p. 100 の Challenge!! (オプション) で、作った原稿をできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。• クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。
-----------	--